

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市今宿西地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

・今宿地区では、連合町内会・自治会を中心として、『多くの人と交流ができ、支え合うまち今宿』『安心して暮らすことができるまち今宿』を目指す地域の姿として、継続的に福祉保健活動への取組がすすめられてきました。これまでに「私の健康カード」「防災安全カード」が継続的に作成、配布され、地域住民の中に定着してきました。また、各町内会・自治会で、ごみ集積場所を「いっとき避難場所」として決め、一番身近なご近所同士で安否確認する仕組みを作り、実際に防災訓練にも取り入れられています。さらに、第2期地域福祉保健計画では、70歳以上の高齢者を対象とした「困った時のあんしんカード」を導入し、外出先で万が一のケガや病気に見舞われた際、周囲の人の手助けを受けての救命率アップを目指していますが、外出時に持参している人が少ないのが現状です。地域の行事の際に携帯を呼びかけ、また「持っていてよかった」という実例を紹介して、普及に努めてまいりました。

・「こども・高齢者等の見守りネットワーク」については、学童の通学時の交通指導、防犯の見守りによるこどもの見守り、老人昼食会や配食、各種サロンの開催による高齢者の見守りが活発に行われています。また、第3期地域福祉保健計画では、地域のサポーターが高齢者・障がい者のちょっとした困りごとのお手伝いをする「今宿地区チョットお手伝い」が一部地区で活動を開始しました。

・今宿地区では、子供から高齢者まで誰もが参加できる場として、自治会町内会等の地区行事が、年間を通じて行われています。また、平成27年度からは「地区だより」の発行回数が年2回から年4回へと増やされ、地域行事や活動をタイムリーに広報する取組がすすめられています。しかし、地域活動が活発な一方、担い手の高齢化の課題がありました。そこで、次世代の地域活動の担い手育成としてすすめている「中学生ボランティア事業」「ジュニアボランティア事業」を各種団体が協力して取り組んでいます。

#### (1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

・身近な場所で気軽に相談に来ていただけるように、引き続き、ケアプラザの総合相談窓口についての広報活動を実施しました。

・ケアプラザの広報紙、自主事業、連合町内会役員会、各町内会・自治会役員会、民生委員・児童委員協議会の他、各種専門委員会、給食会、老人会、シニアの集い、福祉の集い等で、地域ケアプラザが保健福祉の総合相談窓口であることを紹介しています。

・ご相談を受けた際には、必要に応じて適切なアドバイスや各種サービス・関係機関に結び付ける様に対応しました。

## (2) 各事業の連携

- ・地域の会合やお茶のみサロン等に、5職種が交代で参加し、ケアプラザの事業内容の周知及び地域包括支援センターと地域活動交流、生活支援体制整備事業を紹介し、地域からの情報の収集、ケアプラザからの情報発信により、地域情報の共有を図りました。
- ・それぞれの部門で把握している情報や課題の共有を図り、自主事業の開催や、個別訪問等につなげました。
- ・昨年に引き続き、「認知症サポーター養成講座」を共催にて開催しました。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・定期的に同法人内のケアプラザ合同研修会として、「職員倫理規定」「情報漏えい防止」等の全体会と同職種での分科会を実施し、情報交換及びスキルアップの場としました。
- ・法人内研修だけでなく、職員が専門的な外部研修に積極的に参加する機会を作っています。なお、研修参加後は、研修内容について、全体ミーティング等で他職員に発表することで、全体的なスキルアップを進めてきました。
- ・外部から専門の講師を招き、管理者である所長が「PDCA サイクルマネジメント研修」を受講し、職員のマネジメントに活用しています。所長は職員ひとりひとりに対して、定期的な面談等を実施し、個人目標設定、管理、評価を中心とした継続的なマネジメントを行いました。
- ・職員体制において、やむを得ず欠員が生じた場合には、欠員期間を最短にするように、求職活動を行っています。なお、今年度は欠員なく運営することが出来ました。
- ・地域包括支援センターで受けたご相談から、居宅介護支援事業所を紹介する場合には、必ずホームページで複数の事業所を提示し、公正中立性を確保しました。

## (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ケアプラザは地域支え合い連絡会の事務局として、地域と区行政との調整を図りながら、定期的に連絡会を開催し、地域福祉保健計画の実現を推進しました。
- ・連合町内会役員会、各町内会自治会役員会や各種専門委員会、地域の催し、民生委員児童委員協議会、給食会、老人会等、地域福祉の担い手の方々の集まりに積極的に参加し、顔の見える関係を作り、それぞれの状況やニーズを把握しました。
- ・地域支え合い連絡会での高齢者支援に関する現状報告・ご意見の収集や、「地域ケア会議」を継続して開催し、各種専門職と地域住民とのネットワーク構築を進めています。なお、今年度は、個別レベル地域ケア会議を3回、包括レベル地域ケア会議を2回開催しました。
- ・民生委員・児童委員との協働により、在宅高齢者への定期的な訪問等を継続的に実施し、その方にあった適切な介護保険サービス、介護保険外のサービスの利用につなげました。

#### (5) 区行政との協働

・ケアプラザは、地域支え合い連絡会の事務局であるため、第3期地域福祉保健計画「安心・安全なまち 今宿」の実現に向けて、地域代表者と区行政との調整役として、課題の抽出、課題の整理を行いながら、地域福祉保健計画推進を区行政と協働で進めました。また、区行政の重点施策方針に合致した事業をケアプラザの事業として取り組みました。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

・高齢者支援、子育て支援、地域向け等、地域ニーズをふまえながら、自主事業を企画・実施しました。旭区食生活等改善推進員の皆様と協力し、地域を対象とした食育等に関する事業を開催しました。また、他のケアプラザと協力して、地域を越えた旭区内の交流を促しました。

・子育て世代を対象に、生後間もない時期から子連れで参加できる「子育てサロンぴよんぴよん」を開催するとともに、情報提供や子育てに関する講習等を区役所等と協力して開催しました。

・地域包括支援センターと協力し、認知症予防の自主事業「元気に脳トレ（コグニサイズ）」を開催しました。

・地域の集いの場として、「オープンカフェ」を第1～4月曜日に開催しました。

・新たにお茶のみサロン「いきいき」を第3金曜日に開催しました。

・男性利用者や夜間の貸館を増やす為、新しい自主事業「お家で楽しむ世界の料理」を計画・実施しました。

#### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・福祉保健活動団体が活動する場として、貸館を積極的にご利用いただけるように、広報紙等で紹介するとともに、ご利用方法等について窓口等で丁寧に説明し、快適かつ安心してご利用していただけるように努めました。

・ケアプラザ登録団体の成果を披露・発表する場として、登録団体発表会や登録団体交流会等を開催し、登録団体の交流の機会を作りました。また、ケアプラザ祭、各種イベント等を企画し、活動者の意欲を高めてもらい、地域に活動を広げるきっかけとしました。

・地域の施設イベント等、登録団体の福祉保健活動の場を紹介し、地域と登録団体を繋げました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・民生委員・児童委員協議会・地区社会福祉協議会・今宿中学校の地域活動を支援し、年間を通した中学生のボランティア活動事業を支援しました。ケアプラザのデイサービス、子育て広場でのボランティア活動をはじめ、地域のお祭り等の行事、清掃活動等、地域住民との交流を通して、中学生ボランティアの育成を行っていきました。また、新しく地域で行うボランティア活動の立ち上げなど支援をしていきました。登録生徒数は59名で、登録生徒のボランティア参加率の向上、ボランティアとしての質の向上を目指すとともに、ボランティア活動部としての結束力やメンバー同士の交流を図るためのイベント等を企画しました。
- ・ケアプラザの広報紙、旭区ボランティアセンターの広報紙にボランティア活動者募集を告知し、ボランティア登録者を積極的に受け入れました。
- ・今年度も、ボランティア活動者の増加促進の一環として、「よこはまシニアボランティアポイント事業」の登録研修会をケアプラザで実施しました。
- ・ボランティア登録の際、施設の中でどのような活動をしたいのかをコーディネーターが丁寧にヒアリングし、その方の希望や、施設のニーズにあった適切なボランティア活動につなげていきました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・町内会自治会や民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の会合に参加し、ケアプラザからの情報提供を行うとともに、地域ニーズの把握および福祉保健活動に関する情報収集に努めました。
- ・ケアプラザ内・外でどのような福祉保健活動が行われているかの情報を発信しています。
- ・毎月発行する広報紙「ぽけっと」及び旭区広報紙において、ケアプラザ主催の自主事業の告知、ケアプラザの事業紹介、福祉保健活動に関する情報を発信しました。
- ・福祉保健活動団体の活動を広げるために、サロンなどで発表の場を提供しました。
- ・ケアプラザのブログを有効に活用し、ケアプラザの情報を地域に広く発信しています。さらに、子育て世代等の若い世代に見てもらえるように、ケアプラザの広報紙にケアプラザブログ専用のQRコードを掲載し、携帯等からブログを見ることが容易になるように工夫しています。
- ・ケアプラザのブログに自主事業の情報以外の情報等を掲載し、若い世代等にケアプラザの設置目的等を周知しました。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

- ・今宿地区では、ここ数年、高齢者の通いの場は確保されつつありますが、一方で、今は元気で通えている方が、高齢化に伴って徐々に通えなくなってくることも予想されます。また、活動の担い手・後継者不足は切実な課題となっています。生活支援体制整備事業では、現在は元気で通えている方が、通いの場に通り続ける事ができるよう、そして活動の担い手・後継者の不足が解消される事を方針として掲げ、取り組みました。
- 下記に掲げる各項目の推進については、5職種で連携・補完し合い、必要に応じてミーティングを実施しながら取り組みました。
- ・毎月発行しているケアプラザ広報紙『ぽけっと』に加え、4半期毎に生活支援体制整備事業に関する通信を発行・配布しました。この通信では、生活支援体制整備事業に関連する事柄等について情報発信し、地域の皆様が地域課題に気づき、自分の事と

して受けとめ、解決に向けて取り組むことができる地域づくりへの働きかけを行いました。

・法人内の4つのケアプラザ（今宿西地域ケアプラザ、今井地域ケアプラザ、鴨居地域ケアプラザ、仏向地域ケアプラザ）で生活支援コーディネーターが集う部会を3か月に1回定期開催し、区域を超えた情報交換・共有を図ったり、共通の課題等について話し合う場を設けました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・地域包括支援センターの総合相談票、地域ケア会議、介護予防の地域アセスメント、今宿地区の区民アンケート等を活用し、地域の高齢者の皆様を取り巻く様々な状況を把握しました。

・地域包括支援センターが立ち上げ、活動を支援してきた今宿元気づくりステーション『さくらんぼ』『ひなぎく』、お茶のみサロン『こかげ』『さえずり』『ひなた』、そして昨年度新規に立ち上がったたまり場『心』『まごころの家』や地域行事（福祉の集い・季節のお祭り等）に継続的に参加する事で、活動の参加者・担い手・運営代表者の皆様から直接の声をお聞かせいただくとともに、活動に参加されない方、参加できない方、ご近所で気になる方等に関する聴き取り調査も行い、ニーズの把握と分析を実施しました。さらに、今宿地区全体から高齢者が参加される『福祉の集い』にて、地域福祉アンケート（日常生活のごく身近な事柄や、今お困りの事、『あったらいいな』と思う支援等についてのアンケート）を実施しました。このアンケート結果については、今宿地区町内会・自治会連合会への情報提供や今宿地区社会福祉協議会・旭区社会福祉協議会・今宿西地域ケアプラザの連携会議等で活用しながら、地域福祉の推進を図りました。

・住民主体による介護予防活動の団体の活動内容・活動の対象者・担い手等に関する情報収集と整理を行い、活動の特徴や様子が分かる資料作成をするとともに、今宿地区で高齢者向けサービスを展開する民間企業等に関してリサーチを行い、資源の把握・サービスリストの作成を実施しました。収集・整理した資料等については、今宿地区町内会・自治会連合会、民生委員・児童委員協議会やケアマネジャー、エリア内の居宅事業所等に対して、ケアマネジメントに活用されるよう情報提供しました。

・高齢者の暮らしの安心・安全に関して、必要とされる潜在的なニーズ把握に取り組み、住み慣れた地域での暮らしを、さらに安心・安全に継続できるよう努めました。

・旭区徘徊SOSネットワーク協賛店に対しては、毎月発行の広報紙『ぼけっと』を訪問配布し、地域の企業・施設等との関係性をさらに深めました。

## (3) 連携・協議の場

要支援者等を含めた高齢者を住民主体で支えあう活動づくりの推進

・お茶のみサロン『さえずり』の今後の運営について活動の代表者と話し合いの場を持ち、現在元気に参加されている方が要支援者等に該当しても、安心して通い続けることができるよう、要支援者等の受け入れ体制を強化する通所型サービスBへの移行を『さえずり』に検討してもらえるように働きかけました。また、昨年度に引き続き、『さえずり』の要支援者の受け入れに向け、活動の担い手の勉強会等を実施することで、住民が中心となって要支援者等を含めた高齢者を支えあう通所型サービスBへの移行を支援しました。

県営今宿団地の健康団地事業の推進

・平成29年9月20日に新たに立ち上がった県営今宿団地『まごころの家』の健康団地事業の推進を継続支援しました。広報紙等を活用した活動のPR、活動1周年記念の開催支援や出前講座の実施、活動の展開や活動場所の活用拡大等、県営今宿団地自

治会や神奈川県公共住宅課と連携・協議しながら事業推進に向け支援しました。

#### 『今宿地区チョットお手伝い』活動の支援

・今宿地区町内会自治会連合会が高齢者の日常生活上の困りごと支援に取り組む『今宿地区チョットお手伝い』事業については、地域支え合い連絡会を協議体として位置付け、事業推進の支援を継続しました。

#### お茶のみサロン運営代表者の交流会の開催

・高齢者を支え合う活動のつながりの推進として、お茶のみサロンの運営代表者の交流会を定期開催しました。平成29年9月に県営今宿団地に新規に立ち上がった『まごころの家』にも交流会への参加を呼びかけ、さらにネットワークの拡大を図りました。

#### 今宿地区社会福祉協議会・旭区社会福祉協議会・今宿西地域ケアプラザの連携会議の開催

・昨年度新規に立ち上がった、今宿地区社会福祉協議会・旭区社会福祉協議会・今宿西地域ケアプラザの連携会議を、今年度も引き続き毎月定例開催しました。地域ごとに異なる課題がある中で、1人の高齢者の生活を支えるために必要なことを共に考え、その解決に向けた取組の推進を支援しました。また、この会議を起点とし、必要に応じてより小さな単位の話し合いの場の設置・開催を検討しました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

少子高齢化の進行、世帯構成員の減少、要介護者や認知症の方等の増加が予測される中、高齢者の個別支援の充実、地域の担い手の発掘・養成、手助けが必要な高齢者を地域で受け入れる体制整備に向けて取り組みました。

#### 『今宿地区チョットお手伝い』活動の後方支援

・第3期今宿地区地域福祉保健計画に盛り込まれ、今宿地区町内会・自治会連合会が立ち上げた、高齢者への日常生活の困りごと支援に取り組む『今宿地区チョットお手伝い』事業について、地域支え合い連絡会を協議体に位置付け、お手伝い依頼の受付体制やPR等、事業推進に向けた後方支援を継続しました。この後方支援を通じて、今宿地区の高齢者が抱える日常生活支援のニーズ把握と、その解決に向けたマッチングを支援しました。また、担い手の発掘・養成を目的として、『プロ直伝！住まいの修繕塾』をシリーズで開催し、DIYに関して身に付けた知識・技術をご自身のためだけでなく、地域の高齢者のために活用していただけるよう働きかけました。さらに、旭区生活支援コーディネーター連絡会・旭区社会福祉協議会が主催する『旭区ちよこっとボランティア連絡会』への参加についてお声がけをして、熱中症対策・害虫駆除に関する研修の他、ご要望に応じて技術研修会等を企画・実施し、旭区内のちよこっとボランティア活動団体同士の交流・情報交換等の機会を設置しました。

#### よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の開催

・ボランティア活動を通じた健康づくり、生きがいづくり、社会参加を促進し、元気な高齢者を地域に増やす取組として、『よこはまシニアボランティアポイント登録研修会』を年に2回程度、地域活動交流部門と共催で継続的に開催しました。また、すでに町内会館等で実施されている配食・会食サービス団体の中で、ポイント付与の対象となる団体には団体登録の呼びかけを行い、よこはまシニアボランティアポイントの適用拡大を図りました。

#### 生活支援サポーター養成セミナーの開催

・今後も増加が見込まれている手助けが必要となる高齢者を、地域の中で受け入れていける体制づくりを目的として、手助けが必要な高齢者に対し、安心・安全に対応する知識・技術を学ぶ『生活支援サポーター養成セミナー』を開催しました。また、サ

ービスBへの移行を検討される活動団体にも積極的に参加を呼びかけました。

#### 認知症サポーター養成セミナーの開催

・地域包括支援センターと共催で『認知症サポーター養成セミナー』を開催しました。認知症の理解を広め、認知症の方とご家族を応援するためのサポーターを増やし、認知症になっても住み慣れた地域での暮らしが継続できるような地域づくりを進めました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

・地域包括ケアシステムの構築に向けて、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、介護支援専門員等の福祉専門職と、地域の皆様、民生委員児童委員等と、地域の一人暮らし高齢者、認知症高齢者、要介護者が地域で安心して暮らせるまちづくりを目指しました。

・個別レベル・包括レベル地域ケア会議・ケースカンファレンス・事例検討会の開催を通して、地域の課題共有を図り、解決に向けて多職種連携で取り組みました。

・意見交換・顔の見える関係作りを進め、ネットワーク化への努力を続けました。

・SOSネットワーク協賛店への月1回訪問による情報共有の機会を作る等、今年度も地域の皆様との関係を深められるように努めました。

#### ②実態把握

・連合町内会役員会、各町内会自治会役員会、民生委員児童委員協議会、各種専門委員会給食会、老人会、シニアの集い、福祉の集い等地域のイベントや集まりに参加し、地域包括支援センターの役割についての周知を図るとともに、町内会役員・民生委員・児童委員・各種ボランティア・ケアマネジャー・事業所・専門職等との情報交換を密に行い、実態把握に努めました。

・必要に応じて、依頼の方と同行訪問し、一体となって支える体制を作りました。

#### ③総合相談支援

・電話、来所ともに迅速な対応を心がけました。

・元気づくりマップや各種事業のチラシを活用し、インフォーマルサービスや自助互助で出来る内容の提案なども行いました。

・必要に応じて関係機関と連携をとり、適切な対応を心がけました。

・来所によるご相談が難しい方については、訪問により、対応しました。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 区役所や社会福祉協議会等の関係機関との繋がりを強め、迅速に連携し対応しました。
- ・ 関係機関と協働で、地域向けに勉強会や研修会、法律相談会を開催し、権利擁護事業、成年後見制度の普及啓発を行いました。
- ・ サポートネットに参加する事によって、職員のスキルアップを図りました。
- ・ エンディングノートについて講座等を実施し、地域に周知しました。

### ② 高齢者虐待への対応

- ・ 区役所・地域・事業者・ケアマネジャー等との協力体制を作り、対象者の早期発見・早期解決に向け協同して行動しました。
- ・ 住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の方と情報の共有を図り、見守り体制を築きました。

### ③ 認知症

- ・ 旭区キャラバンメイト ひまわりの会と連携し、「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域内における認知症への理解、対応の仕方等の普及啓発を図りました。
- ・ 地域内の学校でも講座を開催し、認知症への理解、対応の仕方等を普及啓発しました。
- ・ 地域での会合他、介護者の集い「プラっと西ケア」、介護予防体操サロン「わかば」、今宿元気作りステーション事業「さくらんぼ」「ひなぎく」等において認知症に関するミニ講座等を行い、正しい認識を持って、地域での見守りが出来る体制づくりを推進しました。
- ・ 地域全体で支えていけるよう、見守りの体制を作り、安心して暮らせるまちづくりの一助となるよう取り組みました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 医師・歯科医師・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・事業所スタッフ等の専門職同士の関係づくりの強化と、専門職同士のネットワークを構築し、一人暮らしの方や認知症高齢者、要援護者の保護、ならびに地域での介護予防に関する意見交換・顔の見える関係作りを進め、協力体制を構築しました。(地域の医療と介護・福祉ネットワークづくり推進会・年1回)
- ・ 地域資源(インフォーマルサービス)をわかりやすく紹介するため、旭区元気づくりマップを活用し、生活支援部門、地域活動交流部門と共同で普及に努めました。
- ・ 民生委員児童委員と地区ごとにお悩み相談会の設置を検討し、各委員の抱える悩みや疑問を集約し、包括支援センターの持つ情報と課題の共有を行いました。
- ・ 地域にある多様な資源を活用し、様々なご相談がケアプラザに入るように、地域の皆様、関係機関の皆様との連携体制を構築しました。



## ②医療・介護の連携推進支援

- ・近隣ケアプラザ合同で行っている「かみしらねアカデミー」では、医療関係者・介護職・福祉職を対象に薬局・薬剤師との連携、精神疾患・障害者等への支援について勉強会を行っています。今年度も地域ケア会議や医療との連携、相談援助技術などについて知識を深めました。
- ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・事業所スタッフ等の専門職と、地域住民及び民生委員・児童委員とのネットワークを構築し、一人暮らしの方や認知症高齢者、要援護者の保護、ならびに地域での介護予防に関しての意見交換・顔の見える関係作りを進め、より密接した協力体制を構築すべく行いました。
- ・今宿西地域の医療と介護の連携促進のために、推進会を開催しました（地域の医療と介護・福祉ネットワークづくり推進会・再掲）。

## ③ケアマネジャー支援

- ・定期的に各事業所を訪問し、地域包括支援センターの業務説明、情報説明、近況報告、情報共有を行う場の提供、事業告知等を強化し、より強い信頼関係を築き、相談、支援要請がしやすい環境整備をしました。
- ・地域包括支援センターの事業に地域のケアマネジャーの参加・協力を得て、地域包括支援センターの業務や事業を理解してもらうとともに、ケアマネジャーからも情報発信が出来る場として各地域連携事業を活用しました（地域の医療と介護福祉のネットワークづくり推進会にて）。
- ・今宿西地域ケアプラザ単独にて地域のケアマネジャーとの意見交換会・研修会を開催しました（事例検討会）（ケースカンファレンス）。
- ・介護者を支える『認知症カフェいろどり』を年6回の予定で開催しました。介護者同士のピアサポートと専門職の傾聴と助言が中心でした。
- ・年2回の予定で、就労予定新人ケアマネジャーの実習及び研修を旭区主任ケアマネジャー分科会で実施しました。施設見学は、新設箇所を中心にコースを組み込みました。なお、全体研修の際は区社会福祉協議会の事業案内もお渡しする等、ケアマネジメントに必要な情報を提供しました。

## （４）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・従来の町内会・自治会、民生委員・児童委員、老人会、給食会への情報提供・連携に加え、地域の方々のニーズを第一に考え、医療情報等の講演の企画を検討し、地域の方々が必要な情報を得る事で地域の介護力向上につなげました。
- ・個別ケースの地域ケア会議については概ね3ヶ月に一度開催し、関係者への連絡・調整・情報提供を行う等、中心的役割を担ってきました。

## （５）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・委託ケースについては、ケアマネジャーと連携しながら、総合支援事業やインフォーマルサービスなどを地域の方々に情報提供しました。
- ・予防支援及び予防ケアマネジメントでは、インフォーマルサービスの位置づけや自立支援の観点が含まれているか、担当者会議等の場を通じて必要な助言を行います。
- ・かみしらねアカデミーにおいて、介護予防プランの勉強会を実施し、エリア内のケ

アマネジャーのケアマネジメント力向上に努めました。

・地区担当ケースワーカー、保健師とも連携したケースカンファレンスや事例検討会を主催または共催し、ケアマネジャーの抱える課題への解決の一助としました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

・今年度も引き続き、自主事業として介護予防体操サロン「わかば」(年 9 回)において、ケアプラザから遠く、来所し辛い方を対象に、地域の町内会館等で行う介護予防体操サロン「わかば出張版」(年 4 回)を開催しました。「わかば」内では保健活動推進員の方やスポーツ指導員の方と連携して、地域の介護予防の普及のため体力測定教室等を開催しました。「わかば」ではロコモティブシンドローム予防・フレイル予防を意識し、実施必須項目以外に地域のニーズに合わせた介護予防事業を展開していきました。

・認知症予防に特化した認知症予防サロン「おれんじ」を企画し、平成 31 年度に実施すべく講師との調整を行いました。

・区で所有している「ロコモ度テストツール」を使用し、地域の方々のロコモ度の現状調査を行いました。自身のロコモ度を意識しながら、ロコモティブシンドローム予防が学べるようにロコモ度テストツールを利用した上で体操講座等を開催しました。

・地域活動交流部門と連携し、自主事業としてコグニサイズ事業を実施することで、コグニサイズの普及・啓発を行いました。

・今年度も、今宿元気ステーション①さくらんぼ、②ひなぎくの側面支援を行いました。

## 5 その他


## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- ・ 指定管理者として、法定保守点検対象項目について、法令を遵守して点検を実施しました。  
また、施設の不具合発見時には、速やかに関係機関に処置を依頼し、不具合状態を迅速に復旧させました。緊急時は、区の担当窓口連絡し、相談・助言を受けながら適切に対応しました。
- ・ 清掃に関しては、専門業者による定期清掃の他、日常的に職員が館内を清掃し、常に清潔な空間を保持しました。
- ・ ご利用者の皆様に、施設を常に安全かつ快適にご利用していただけるように努めました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

- ・ 指定管理者としてより効率的に施設を運営する為、予算の執行における物品購入の際には、2社以上から見積書を取り、より低価格で購入できるように努めました。
- ・ 人員の適正な配置については、例えば、地域活動交流部門においては、日々の事業内容に応じてサブコーディネーターを配置する等、人件費の抑制に努めました。
- ・ 地域包括支援センター、居宅介護支援、地域活動交流の各部門の職員が常に情報交換を行うことで、地域のニーズを適切に把握し、自主事業の開催、情報提供の機会の設定、適切なサービス提供等の課題解決につなげました。

#### (3) 苦情受付体制について

- ・ 地域の有識者の方々にご協力いただき、苦情処理に関する第三者評価委員を設置し、対応できる体制を整えました。
- ・ 館内に「ご意見箱」を常設し、ご意見ご要望が寄せられた際には、対応を協議し、対応した結果については、館内に掲示する事で施設を利用されるすべての皆様にご報告しました。
- ・ 苦情が発生した場合には、速やかに対応し、再発防止に向けて原因の解明に努め、職員で共有しました。
- ・ 月1回発行している広報紙の紙面においても、ケアプラザについてのご意見・ご要望・苦情について、常時、受け付けている旨を広く周知しました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防災対策として、年に2回以上の訓練を実施し、有事の際に全職員が適切な対応をとることができるように努めました。防災訓練については、旭消防署のご協力をいただきながら、職員及び施設利用者全員で緊急時の避難及び消火器の使用訓練、AEDの使用法を含めた救命講習を実施しました。
- ・ 防犯対策として、閉館後は、専門の警備会社に警備業務を委託し、不審者等の侵入を防止する対策をとりました。なお、正面玄関以外の扉は常に施錠し、日中は職員による巡回を行いました。
- ・ 災害時の対応として、地域防災拠点等での避難生活が困難な在宅要援護者の為に、当施設を二次的な特別避難場所として開放できるよう、横浜市から応急備蓄物資の供給を得て、常時、受け入れ体制を整えました。また、開設手順をマニュアルにまとめることで、いつでも職員が対応できるように準備しました。
- ・ 「今宿西地域ケアプラザ防災マニュアル」を作成し、緊急時の対応及び連絡体制を整えました。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・ 軽微な事故（ヒヤリハットメモ含む）や予測される事故の全てを報告の対象にし、朝の打合せの際、各部門の職員ミーティングの際に報告・検討し、周知徹底を図り、再発を未然に防ぐよう努めました。特に危険と思われること、再発が危惧されることに対しては、シミュレーションして意見交換を行いました。
- ・ 報告すべき事故が発生した際には、連絡体制のフロー図通りに対応し、原因究明、関係機関への報告等を速やかに行いました。報告書については、職員一人一人が確認できるように、決められたファイルに保管し、閲覧できるようにしました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 職員に対して、「個人情報保護」についての研修を法人内で実施し、個人情報の取り扱いについて注意を喚起する機会を設けました。さらに、全職員に対して、個人情報の取り扱いについて法令を遵守する旨の誓約書の提出を義務付け、実施しました。
- ・ 通所介護事業、居宅介護支援事業、介護予防事業等の契約書に盛り込まれている個人情報の取り扱いについての事項を遵守するとともに、職員が個人情報を取り扱う際には、「個人情報・取扱いについてのマニュアル」に基づき対応しました。また、個人情報が含まれる、通所介護のご利用者へお渡しする書類（連絡帳、領収書）に関しては、手渡しを原則とし、その他、ご利用者、取引業者にお渡しする書類等の発送、発信の際は、発送、発信の前に、誤発送、誤送信がないよう複数のスタッフで確認しました。
- ・ データ保存で使用するメディア（USB）は、施設外への持ち出しを禁止し、保管については、鍵がかけられる棚の中で行いました。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・ 月1回発行の広報紙で、施設の事業内容を紹介しました。
- ・ 年に1回、利用者アンケートの結果の集計結果を公表しました。また、運営協議会において、地域包括支援センターの相談件数、居宅介護支援部門の担当件数、施設の利用状況等を報告しました。また、必要に応じて「介護サービス情報の公表制度」を利用し、ホームページに掲載しました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・横浜市から発行される「人権」に関するポスター、広報紙を館内に掲示し、施設利用者への啓発を行いました。
- ・4月の法人全体研修において、「人権擁護」についての職員研修を実施しました。
- ・人権擁護に関する文書等を施設職員で回覧し、それぞれの業務遂行にあたっては、人権に配慮して行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・「資源を大切に」の観点から、施設内にごみ排出責任者を配置し、職員への分別ルールの周知、徹底を推進しました。
- ・排出項目別のごみ箱の設置等、ごみを分別しやすい施設環境を整え、今年度もごみ排出の際には、横浜市の分別ルールを厳守し、リサイクル可能な紙・段ボール類については、すべて古紙回収に回し、リサイクルの徹底に努めました。
- ・今年度もペットボトル、空き缶、牛乳パック等は、ごみとして排出せず、デイサービスでのレクリエーションや創作活動に使用するなど、再利用を心がめました。
- ・年間を通じて、職員一人一人が節電・節水を心がけました。
- ・特に夏季の電力使用を抑制する為、施設利用者の皆様に施設の空調・照明を最小限で使用していただくよう協力を呼びかけました。
- ・ゴーヤ等のグリーンカーテンを敷地内に設置し、日除けとして利用する事で、節電に努めました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- 看護師 1名
- 社会福祉士 1名
- 主任ケアマネージャー 1名

#### 《目標に対する成果等》

- 専門職がそれぞれの専門性を発揮し、地域で住み続けやすいよう介護保険、インフォーマルサービスを組み合わせ、ケアプラン立案を進めました。
- 3職種が相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、困難事例などにも取り組みました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 迅速な対応を心掛け、住みやすい街づくりのお手伝いをしていきました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
35	35	39	37	36	39
10月	11月	12月	1月	2月	3月
39	40	40	39	39	39

● 居宅介護支援事業

《職員体制》 2019.05.10

- 常勤 3名

《目標に対する成果等》

- 適切なケアマネジメントを行い、課題や必要な支援を把握し、居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう支援しました。
- 利用者の人生観等を尊重し、その利用者の選択に基づいてサービスが提供されるよう支援しました。
- 介護支援専門員としての倫理を持ち、公平中立に支援しました。
- 市町村、地域包括支援センター、サービス事業者等の他職種との連携を密に行いました。
- 親切・丁寧・迅速に専門知識をもって、介護保険等の相談に対応しました。
- 利用者件数は基準担当件数である35件を目標としました。
- 緊急連絡用の携帯電話にて、24時間体制で対応しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 研修や勉強会への参加等を通して、ケアマネジメント業務の質の向上を図りました。
- 緊急連絡用の携帯電話を職員が所持し、ご利用者様・ご家族様からの連絡に、24時間体制で対応できる体制を整えました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	109	112	109	108	107
10月	11月	12月	1月	2月	3月
106	113	113	113	113	117

● 通所介護・認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

- 
- 

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月



● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （事業対象者） 円
  - （要支援1） 円
  - （要支援2） 円
- 食費負担 円
- 
- 

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市今宿西地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,458,631	0	17,458,631	16,971,360	487,271	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	1,241,950	△ 1,241,950	
自主事業収入			0		0	
雑入	30,000		30,000	48,029	△ 18,029	
印刷代	30,000		30,000	26,935	3,065	
自動販売機手数料			0	11,494	△ 11,494	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	9,600	△ 9,600	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	17,488,631	0	17,488,631	18,261,339	△ 772,708	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,200,000	0	11,200,000	12,656,263	△ 1,456,263	
本俸	2,776,816		2,776,816	3,050,700	△ 273,884	
社会保険料	937,552		937,552	1,045,044	△ 107,492	
手当計	7,261,296		7,261,296	8,317,674	△ 1,056,378	
健康診断費	93,072		93,072	101,169	△ 8,097	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	92,176		92,176	100,176	△ 8,000	
その他	39,088		39,088	41,500	△ 2,412	
事務費	666,515	0	666,515	2,007,253	△ 1,340,738	
旅費	5,000		5,000	7,857	△ 2,857	
消耗品費	35,000		35,000	522,099	△ 487,099	
会議賄い費	5,000		5,000	27,000	△ 22,000	
印刷製本費	25,000		25,000	149,601	△ 124,601	
通信費	46,000		46,000	232,452	△ 186,452	
使用料及び賃借料	0	0	0	22,434	△ 22,434	
横浜市への支払分			0	10,464	△ 10,464	
その他			0	11,970	△ 11,970	
備品購入費	5,000		5,000	818,008	△ 813,008	
図書購入費	0		0	38,268	△ 38,268	
施設賠償責任保険	25,000		25,000	31,641	△ 6,641	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	250,000		250,000	54,432	195,568	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	12,000		12,000	26,138	△ 14,138	
その他	253,515	0	253,515	77,323	176,192	
事業費	1,070,572	0	1,070,572	1,463,846	△ 393,274	
運営協議会経費	42,000		42,000	15,662	26,338	
指定管理料充当 事業	1,028,572		1,028,572	1,448,184	△ 419,612	
管理費	3,625,544	0	3,625,544	2,143,246	1,482,298	
建築物・建築設備点検	65,829	0	65,829	42,660	23,169	
光熱水費	1,400,000	0	1,400,000	1,128,140	271,860	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	400,000		400,000	136,042	263,958	
修繕費	474,000	0	474,000	9,898	464,102	
機械警備費	150,000		150,000	75,662	74,338	
設備保全費	750,000	0	750,000	632,920	117,080	
空調衛生設備保守	150,000		150,000	78,332	71,668	
消防設備保守	100,000		100,000	37,089	62,911	
電気設備保守	300,000		300,000	493,761	△ 193,761	
害虫駆除清掃保守	100,000		100,000	23,738	76,262	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	100,000		100,000	0	100,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	385,715		385,715	117,924	267,791	
公租公課	896,000	0	896,000	1,012,501	△ 116,501	
事業所税			0	0	0	
消費税	896,000		896,000	1,012,501	△ 116,501	
印紙税			0	0	0	
その他 ( )			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	17,458,631	0	17,458,631	19,283,109	△ 1,824,478	
差引	30,000	0	30,000	△ 1,021,770	1,051,770	

自主事業費収入	1,028,572		1,028,572	1,241,950	△ 213,378	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,028,572		1,028,572	1,448,184	△ 419,612	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 206,234	206,234	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	11,494	△ 11,494	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	10,464	△ 10,464	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	1,030	△ 1,030	

平成30年度「横浜市今宿西地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,027,202	0	23,027,202	22,624,686	402,516	横浜市より
指定管理料（介護予防）	147,600		147,600	147,600	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	1,000	△ 1,000	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	17,200	△ 17,200	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	21,094	△ 21,094	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	11,494	△ 11,494	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充充分）	0		0	9,600	△ 9,600	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>28,963,802</b>	<b>0</b>	<b>28,963,802</b>	<b>28,600,580</b>	<b>363,222</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>25,980,000</b>	<b>0</b>	<b>25,980,000</b>	<b>23,603,489</b>	<b>2,376,511</b>	
本俸	13,870,981		13,870,981	12,068,820	1,802,161	
社会保険料	3,329,856		3,329,856	3,054,281	275,575	
手当計	8,040,290		8,040,290	7,875,953	164,337	
健康診断費	34,033		34,033	32,391	1,642	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	462,703		462,703	389,544	73,159	
その他	242,137		242,137	182,500	59,637	
<b>事務費</b>	<b>725,143</b>	<b>0</b>	<b>725,143</b>	<b>1,625,543</b>	<b>△ 900,400</b>	
旅費	15,000		15,000	34,387	△ 19,387	
消耗品費	20,000		20,000	34,455	△ 14,455	
会議賄い費	0		0	27,000	△ 27,000	
印刷製本費	20,000		20,000	149,601	△ 129,601	
通信費	40,000		40,000	243,753	△ 203,753	
使用料及び賃借料	0	0	0	22,434	△ 22,434	
横浜市への支払分	0		0	10,464	△ 10,464	
その他	0		0	11,970	△ 11,970	
備品購入費	0		0	883,132	△ 883,132	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000	31,641	△ 6,641	
職員等研修費	5,000		5,000	7,000	△ 2,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	300,000		300,000	0	300,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	20,060	△ 20,060	
その他	300,143	0	300,143	172,080	128,063	
<b>事業費</b>	<b>1,292,315</b>	<b>0</b>	<b>1,292,315</b>	<b>607,708</b>	<b>684,607</b>	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	
指定管理料充当事業（包括）	205,715		205,715	9,964	195,751	
指定管理料充当事業（介護予防）	147,600		147,600	132,766	14,834	
指定管理料充当事業（生活支援）	309,000		309,000	107,978	201,022	
<b>管理費</b>	<b>966,344</b>	<b>0</b>	<b>966,344</b>	<b>569,716</b>	<b>396,628</b>	
建築物・建築設備点検	17,486		17,486	11,340	6,146	
光熱水費	420,000	0	420,000	299,885	120,115	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	100,000		100,000	36,162	63,838	
修繕費	126,000		126,000	2,630	123,370	
機械警備費	50,000		50,000	20,112	29,888	
設備保全費	140,000	0	140,000	168,241	△ 28,241	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	20,822	29,178	
消防設備保守	20,000		20,000	9,859	10,141	
電気設備保守	30,000		30,000	131,251	△ 101,251	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	6,309	13,691	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	20,000		20,000	0	20,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	112,858		112,858	31,346	81,512	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>28,963,802</b>	<b>0</b>	<b>28,963,802</b>	<b>26,406,456</b>	<b>2,557,346</b>	
差引	0	0	0	2,194,124	△ 2,194,124	

自主事業費収入	0		0	18,200	△ 18,200	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	250,708	△ 250,708	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 232,508	232,508	

管理許可・目的外使用許可収入			0	11,494	△ 11,494	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	10,464	△ 10,464	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	1,030	△ 1,030	



# 平成30年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市今宿西地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ミュージックサロン	地域	226450	地活	4450	222000		93540	130175	2735
	740人		包括						
	300円		生活						
そろばん	小学生	70787	地活	28787	42000		70787		
	420人		包括						
	100円		生活						
タイ式ヨガ	子育て中のママ	148617	地活	21117	127500		147000	1617	
	255人		包括						
	500円		生活						
音楽喫茶Zio	地域	38414	地活	3564	34850			20174	18240
	389人		包括						
	100円(コーヒー代)		生活						
親子deダンス	未就園児と保護者	80262	地活	1262	79000		66822	1850	11590
	295人(158組)		包括						
	500円(1組)		生活						
キッズダンス・ワンステップ	未就学児	111834	地活	1834	110000		66822	45012	
	220人		包括						
	500円		生活						
母の日に手作りプレゼント	小学生以上	6341	地活	3341	3000		3341	3000	
	6人		包括						
	500円		生活						
父の日に親子でそば打ち体験	父親と小学生	13,732	地活	4232	9500		4232	9500	
	19人		包括						
	500円		生活						
切り絵	地域	26283	地活	15683	10600		24497	1786	
	106人		包括						
	100円		生活						
ヴォイストレーニング	地域・小中学生	80184	地活	11684	68500		80184		
	137人		包括						
	500円		生活						
げんきに脳トレ	高齢者	133632	地活	33732	99900		133632		
	333人		包括						
	300円		生活						
夏休みフラワーゼリー作り	小学生	6341	地活	3841	2500		3341	3000	
	5人		包括						
	500円		生活						
シング・ア・ソング	精神障がい者他	26061	地活	12861	13200		26061		
	132人		包括						
	100円		生活						
クリスマスコンサート	地域	3558	地活	358	3200			3558	
	32人		包括						
	100円		生活						
書初め教室	小学生	7795	地活	3195	4600		7795		
	23人		包括						
	200円		生活						
今宿西オープンカフェ	地域	147029	地活	1329	145700			115865	31164
	1457人		包括						
	100円		生活						
子育て広場ぴよんぴよん	未就園児と保護者	1404	地活	304	1100			1404	
	712人(工作22名参加)		包括						
	50円(工作費)		生活						

## 平成30年度 自主事業収支報告書

囲碁・将棋サロン・キッズ	地域の方・小学生	0	地活						
	264人		包括						
	0円		生活						
旭ふれあい区民まつり 行政PRコーナー出展事業	地域の方	345	地活	345					345
	450人		包括						
	0円		生活						
迎春生け花講座	地域の方	0	地活						
	8人		包括						
	0円		生活						
ケアプラザ祭	地域	26390	地活	10790	15600		10568	13338	2484
	600人(珈琲156名購入)		包括						
	100円		生活						
楽しく英会話	地域・未就園児と保護者	147000	地活	8500	138500		147000		
	381人(大人277名・未就園児104名)		包括						
	500円		生活						
シニアボランティア講座	高齢者	0	地活						
	15人		包括						
	0円		生活						
ボランティア感謝会	ボランティア活動者	4860	地活	4860				4860	
	25人		包括						
	0円		生活						
5CP共催企画「ふれあい ウォーク」	地域の方	2400	地活	2400					2400
	4人		包括						
	0円		生活						
フラワーアレンジメント講座	地域	45426	地活	4026	41400		2226	43200	
	23人		包括						
	1,800円		生活						
登録団体発表会	地域	0	地活						
	122人		包括						
	0円		生活						
お茶のみサロン「いきいき」	地域	38780	地活	280	38500			38780	
	385人		包括						
	100円		生活						
登録団体交流会	登録団体	0	地活						
	40人		包括						
	0円		生活						
ママストレッチ	子育て中のママ	5568	地活	1568	4000		5568		
	8人		包括						
	500円		生活						
いまから学ぶiPhone	地域の方	0	地活						
	8人		包括						
	0円		生活						
クリスマスグラスアート体験	地域の方	20568	地活	8568	12000		5568	15000	
	12人		包括						
	1000円		生活						
HAPPYてがたアート	子育て中のママと子ども	8500	地活		8500			8500	
	17名		包括						
	500円		生活						
大人のメイク講座	地域の方	7,188	地活	3888	3300		5568	1620	
	11名		包括						
	300円		生活						
みんなで一緒にリトミック	地域の方・ママと子ども	4454	地活	2654	1800		4454		
	9人		包括						
	200円		生活						

## 平成30年度 自主事業収支報告書

お家で楽しむ世界の料理(中華編)	成人男性	7981	地活	6781	1200		5568	1600	813
	2名		包括						
	600円		生活						
認知症カフェ『いろどり』	地域	2468	地活		1000				2468
	10人		包括	1468					
	100円		生活						
プラット西ケア(介護者の集い)	高齢者	2928	地活						2928
	53人		包括	2928					
	0円		生活						
生活支援体制整備事業 広報事業	地域	69408	地活						60408
	—		包括						
	0円		生活	69408					
生活支援サポーター養成セミナー	地域の方	0	地活						
	30名		包括						
	0円		生活						
プロ直伝!住まいの修繕塾	地域の方	38570	地活		17200		22270	16300	
	54名		包括						
	内容により100円~500円		生活	21370					

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市今宿西地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミュージックサロン	<p>目的：高齢者の外出の機会を増やし、参加者同士の交流、仲間作りの場とします。</p> <p>内容：月に1回、第一金曜日の午前10時～11時50分、講師のアコーディオンの演奏に合わせて、季節感を感じていただける唱歌、懐かしい歌を歌います。参加者がお友達を連れて来られ、参加者の歌の輪が広がる場を作ります。</p>	<p>通年 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そろばん	<p>目的：地域の小学生に、「そろばん」を気軽に体験する機会を設け、計算が好きな子供を増やすこと。</p> <p>内容：月に2回、水曜日の放課後、地域在住の方を講師に迎え、そろばんの指導をします。地域の方に採点のボランティアとして参加してもらいます。</p>	<p>通年 24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
タイ式ヨガ	<p>目的：子育て中の女性が、ヨガの運動を通してリフレッシュできる時間を提供すると共に、ヨガ教室参加をきっかけに子育て広場事業への参加につなげる。また、未就園児連れ参加okとして、ボランティアスタッフの見守りを行い、ケアプラザ登録ボランティアスタッフの活動の場を作ること。</p> <p>内容：月2回、多目的ホールでヨガを行います。途中、お茶の時間を設け、参加者同士の交流の時間を作ります。</p>	<p>通年 20回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽喫茶Zio	<p>目的：老若男女問わず、音楽愛好者が集い、交流する機会を設ける。また、運営ボランティアを育成する。</p> <p>内容：鑑賞に使うレコードの寄付を地域住民の方々にお願いして集まったレコードをジャンル別に分類。広報紙や地域住民の集まりで開催告知を行う。プログラムは3時間を3つのジャンルに分け、リクエストを受けながらレコードをかけます。</p>	<p>通年 12回</p>



# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子deダンス	目的：親子共に参加できるダンス教室として、親子のふれあいを深め、また新しいお友達作り、交流の場を提供すること。 内容：地域在住のダンスの指導者を講師役として迎え、親子で楽しめるダンス講座を開催します。	4月～6月 10月～12月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズダンス・ワンステップ	目的：青少年の健全育成の機会提供を行うこと。 内容：地域で子供向けダンスクラブを指導している講師を招き、楽しい音楽に合わせてダンスの振り付けを指導。最初の回と最終の回のみ保護者の見学OKとして、保護者と離れて練習。最終回に、保護者の前で披露します。また、デイサービスで発表してもらい、交流の機会を設けます。	7月～9月 1月～3月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日に手作りプレゼント	目的：母の日に合わせて、プレゼントを作り、プレゼントすることで、親子の絆を深める機会を作ります。また、ケアプラザをまだ利用したことがないファミリー層の方に、ケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用促進につなげます。 内容：アイシングクッキーを手作りして、プレゼントとして持ち帰ります。	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父の日に親子でそば打ち体験	目的：父親と一緒に物作りを行うことで、親子の交流の機会を設けます。特に、ケアプラザをまだ利用したことがない世代の方にケアプラザに来館していただく機会を設け、今後の利用につなげます。 内容：地域のそば打ち教室の先生がそば打ちを教え、出来上がったものを食べてもらいます。	6月 1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
切り絵	<p>目的：切り絵を通じて小さな芸術作品を創作することの喜びと交流機会を提供します。</p> <p>内容：講師が切り絵とは何か？切り絵のやり方などを説明した後、題材をもとに個々に切り絵を実践します。講師が一人ずつ指導します。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヴォイストレーニング	<p>目的：子育て世代や高齢者が一緒に歌を歌う事で、世代を超えた交流の機会を提供する。</p> <p>内容：ヴォイストレーニングをしながら歌をうまく歌うコツを習い、コーラスグループなどの参加を促し地域交流を促進する。</p>	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
げんきに脳トレ	<p>目的：地域包括支援センターと共催で認知症予防の認知サイズで介護予防や地域交流の機会の提供。</p> <p>内容：看護師と一緒に参加して参加者の体調を確認しながら、講師が認知症予防の認知サイズを教える。</p>	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みフラワーゼリー作り	<p>目的：夏休みの研究という事で「フラワーゼリー作り」をテーマに、小学生にケアプラザに足を運んでもらう機会を作り、保護者にもケアプラザを知ってもらおう。フラワーゼリーを通して創作活動等に興味を持つきっかけの提供。</p> <p>内容：講師の方で道具を用意して、デモンストレーションを行う。</p> <p>デモンストレーション後に参加者が好きな色を選び、注射器でゼリーの中に花を作り、味見を行う。</p> <p>食べてしまう前に、作ったゼリーの写真を撮ってプリントアウトして、保護者の方に見てもらおう。</p>	8月 1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シング・ア・ソング	<p>目的：地域包括支援センターと共催で開催し、精神障がい者が地域で集える場所を作るとともに、そのサロンを運営するボランティアを育成することで、地域住民の精神障がい者に対する理解啓発を行う。</p> <p>内容：当事者と付添い者、ボランティアがケアプラザ近隣在住の音楽療法士による選曲および伴奏で歌を歌いながら交流します。</p>	通年 12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>目的：ケアプラザに足を運んでいただく機会とすること。また、ボランティアに運営に関わっていただくことで、ボランティア活動機会の提供を行うこと。</p> <p>内容：＜第1部＞県立旭陵高校吹奏楽部の皆さんのクリスマスにちなんだ曲の演奏。＜第2部＞音楽系の登録団体の演奏等＜第3部＞自主事業の講師の演奏に合わせ会場全員でクリスマスソングを歌う。運営については、ボランティアグループかたつむりメンバーや中学生ボランティア活動部に受付等をサポートしてもらいます。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書初め教室	<p>目的：地域の小学生に、ケアプラザに来てもらう機会を作る。</p> <p>内容：学校の課題になっている書初めをケアプラザでみんなで行います。ケアプラザ利用団体メンバーが会場準備、当日の指導をボランティアとして担います。教室終了後は、作品を持ち帰る他、館内に「書初め作品展」として展示します。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今宿西オープンカフェ	<p>目的：地域ケアプラザをもっと身近に利用していただくこと。企画、運営等にあたってボランティアスタッフを募り、ボランティア活動分野を広げる。</p> <p>内容：エントランスホールを開放して音楽を聴きながらのんびりくつろいでいただいたり、地域住民の方々と交流していただけるカフェ空間を演出。囲碁・将棋等のコーナーも設け、様々なくつろぎスタイルを提案する。</p>	通年 48回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場ぴよんぴよん	<p>目的：子育て中のフリースペースとして、新しいお友達作り、情報交換の場として、また、先輩ママがボランティアとして携わることで悩み相談の場とします。</p> <p>内容：月2回、月曜日の午前10時～午後2時、多目的ホールをプレイルームとして開放します。また、地域の先輩ママがボランティアとして参加、区役所地区担当の保健師に参加してもらう等、気軽に相談できる体制を継続していきます。</p>	通年 25回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁・将棋サロン・キッズ	<p>目的：地域の方と小学生に放課後の有意義な活用の場を提供。</p> <p>内容：月2回、第1・3水曜日に、初心者・小学生向けに地域在住のボランティアが囲碁・将棋を指導します。</p>	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政PRコーナー出展事業	<p>目的：区民に対してケアプラザの認知度を高める。</p> <p>内容：ケアプラザをPRするため、行政・PRコーナーに出展する。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
迎春生け花講座	<p>目的：地域ケアプラザを利用したことのない、あるいは利用が少ない方々に、ケアプラザに足を運んでいただくきっかけを作る。</p> <p>内容：講師が活けたお花を見ながら、新年を迎えるための生け花を行う。</p>	12月 1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭	<p>目的：地域の多くの方にケアプラザを知っていただく、事業内容をご紹介する機会とする。また、ボランティア活動に、ケアプラザ登録団体の方に携わっていただくことで、ボランティア活動に対する関心を高める機会とする。</p> <p>内容：多目的ホールで自主事業参加者のダンスやサークル活動の歌等の発表、パッチワーク等の作品展示、活動紹介。体組成計を使った健康チェック、介護等についてのご相談等の実施。今宿地区町内会自治会の模擬店出店など、地域住民が気軽に参加しながら、ケアプラザを知っていただく機会を提供。なお、運営にあたっては、ケアプラザ登録団体によびかけ、ボランティアスタッフを募り、麻雀、太極拳、ボーイスカウト、社交ダンス等、色々な分野のサークルから、また中学生ボランティア活動部から、ボランティアとして参加してもらいました。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく英会話	<p>目的：英語を通して地域の交流を図る。高齢者、未就園児とその親を対象に英語のある環境を作る。</p> <p>内容：高齢者向けは東京オリンピックを家でテレビで見るのではなく、会場に見に行くという目標で、簡単な英会話を学ぶ。未就園児とその親向けは、親が子供に話しかけるきっかけを作り、親子の交流や、子供に関心を持ってもらう為に英語というツールで遊ぶながら学ぶ。</p>	通年 30回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティア講座	<p>目的：シニア世代の方がボランティアに関わる機会をつくり、地域で活躍する事が出来るようにヨコハマいきいきポイントの活用を促進する。</p> <p>内容：シニア世代にヨコハマいきいきポイントの講習を開催し、ボランティア活動を始める機会を設ける。</p>	6月・3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	<p>目的：ケアプラザで活動しているボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、ボランティア同士の交流の機会を提供し、今後の活動の励みとしていただく。</p> <p>内容：カフェボランティア等の他のボランティア活動を披露など、参加者に自己のボランティア活動を紹介していただく。コーヒー・ケーキをとりながら歓談する時間を設ける。</p>	3月 1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
5CP共催企画「ふれあいウォーク」	<p>目的：・各CP共催ということで、地域・区域を越えたCP間の交流の促進と拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に歩く(ウォーキング)事で健康づくりをし、高齢者の引きこもり防止と仲間づくりの場の提供</li> <li>・旭区推奨ウォーキングフレンズにちなみ、各CP生活支援コーディネーターと共催とし、ウォーキング事業を進める</li> </ul> <p>内容:山手駅～本牧山頂公園～本牧神社～三溪園を歩く。</p>	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジメント講座	<p>目的：ケアプラザを知らない幅広い世代の方に知ってもらい、理解を深める。各世代の方々の交流の場をつくる。</p> <p>内容：講師が作り方などを説明した後、個々にフラワーアレンジメント作成を実践する。講師が一人ずつ指導していく。</p>	4月・6月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
登録団体発表会	<p>目的：登録団体の交流と日頃の活動の成果を報告する場の提供。地域の方に登録団体を知ってもらい、参加などを促す。コーヒーなどの販売を行い、オープンカフェの宣伝もする。</p> <p>内容：発表会を開催し、登録団体の中から約8団体に活動の報告を兼ねた発表をしてもらう。</p>	1月 1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶のみサロン 「いきいき」	目的：地域の高齢者の外出機会の確保、交流の場の提供及び、ボランティア活動の活動機会の提供。 内容：毎月1回第3金曜日の午後、コーヒーやお茶を飲みながら、ハーモニカの伴奏で歌を歌ったり、工作したり、ケアプラザで活動している団体のフラダンスや民謡、大正琴等の演奏を聞き、楽しい時間を過ごしていただく。	通年 11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
登録団体交流会	目的：登録団体の交流とケアプラザを知ってもらい正しく利用してもらおう。登録団体が利用するにあたっての要望等を聞く機会を設ける。 内容：①登録団体の活動内容を各団体代表者などが一言で説明。②ケアプラザとは③ケアプラザの利用上の注意④登録団体からの要望等を聞く。 また、サークル紹介中に避難訓練を行い、各団体のかたが避難訓練に参加し、サークルメンバーに災害時の対応を伝える。	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママストレッチ	目的：子育て中のママに、ストレッチを通して運動するきっかけを作る。ケアプラザを利用したことがない地域のママに、ケアプラザを知ってもらうきっかけ作り、子育て世代向けの自主事業につなげる。未就園児の見守りは行わず、幼稚園以上の子供を持つママ対象。 内容：子育て中のママに、ストレッチを通して運動するきっかけを作る。家でも出来るストレッチを学び、日頃の健康づくりを心掛けてもらう。旭区健康づくり係認定のウォーキングフレンズ講師に最後の5分でウォーキングの仕方などを話してもらう。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いまから学ぶ iPhone	目的：ケアプラザ利用者でも、ガラパゴス・ケータイからスマートフォンにしたいが、使い方がよくわからない、また、変えたが使いこなせてないと相談がいくつもあったので、これを機会に携帯電話を活用して仲間作りの機会を作る。 内容：ソフトバンクの講師がiphoneを人数分用意して、体験を行いながらiphoneの使い方等を学ぶ。	10月 1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスガラスアート体験	<p>目的：ガラスアート作りを通し、地域の交流の場の提供。ケアプラザを知らない人にケアプラザを知ってもらおう。</p> <p>内容：クリスマスに向けて、壁掛け型のガラスアート作りを講師に教えてもらう。</p> <p>講師のデモンストレーションで作り方を見せてもらい、講師の指導のもと壁掛け型ガラスアートを作成する。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
HAPPYてがたアート	<p>目的：新しいぴよんぴよん利用者の増加を促す。</p> <p>子供といっしょに作成する事で、子供との思い出を作る。</p> <p>内容：講師に教わりながら子供の手形を使ってクリスマスアート作品を作る。</p> <p>完成した手形アートは持ち帰り。</p>	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のメイク講座	<p>目的：・メイクには、美しく彩ったり、華やかに装う効果の他、気分を高揚させたり、リラックスするなど心理的効果があると言われていています。日頃と同じメイクではなく、プロからメイクに対しての講座を聞き、その後実践に入り、メイクをして、晴れやかな気分で街に繰り出したり、ティータイムなどして仲間作りのきっかけ作り。</p> <p>内容：・講師によるメイクについて、ベースメイクは何の為にするか、眉の基本の書き方、チークの入れ方（顔の輪郭により入れ方が変わる）など、講座を聞いてからメイクを落として、基本から実践していきます。</p> <p>・メイクが終わったら、そのメイクを忘れないために、写真を撮り、皆さんにプレゼントします。</p> <p>・また、写真をプリントアウトするまでの間、皆さんに紅茶をお出しして、アンケートや質疑応答の時間を設けます。</p>	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで一緒にリトミック	<p>目的：子育て世代と地域の60歳以上の方が一緒にリトミックをすることで、多世代交流と健康づくりを行う。</p> <p>内容：音楽ケア体操とリトミックのプログラムをミックスした内容で、音楽に合わせて身体を動かし、子ども・子育て世代・60歳以上の地域の方が同じ内容のプログラムを行う。</p> <p>子育て世代のプログラムをメインに難しくない初心者向けの運動を60歳以上の地域の方が行うプログラムを組む。</p>	2月 1回



# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お家で楽しむ世界の料理（中華編）	<p>目的：男性に料理作りに興味を持ってもらい、趣味や家族サービスなどで自分、家族の為に料理をすることで、楽しみを増やしてもらう。</p> <p>内容：ヘルスメイトを講師に男性向けに水餃子の作り方を教えてもらい、食べて帰る。市販の皮を使い、餡は自分で作る。包み方を練習（10個くらい）する。コンロを4つ使い、講師の指導のもと餃子を茹でて、ボランティアルームで試食する。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ『いろどり』	<p>目的：認知症介護家族のピアカウンセリング機能として発足。現役世代で想いの共有が出来る事で認知症介護における気持ちの軽減が出来ること。</p> <p>内容：雰囲気づくりを大切に、テーブルクロスや小物、飲み物、菓子を用意し、語り合う場とします。批判し合わないルールを設定し、同調される方の参加になります。職員が1～2名同席し、1時間半、介護者のフリートークを行います。</p>	奇数月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラット西ケア（介護者の集い）	<p>目的：日常の介護者のお話を参加者全員で傾聴し、介護についての悩み等を独りで抱え込まないように適切なアドバイスやレスパイトの場を提供する事。</p> <p>内容：参加者は介護についての日常の事や今後について話をする場として参加。参加者の中からハーモニカ演奏やマジックが得意な方に披露していただき、リフレッシュの時間をつくります。また、活動内容は参加者にアンケート等で希望を聞きながら活動を広げていきます。</p>	偶数月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活支援体制整備事業広報事業	<p>目的：生活支援体制整備事業に関する情報紙『ザ☆今宿ナビ』を発行し、地域のみなさまに、生活支援体制整備事業の情報をお伝えし、生活支援体制整備事業の必要性等について身近に感じていただく。</p> <p>内容：生活支援体制整備事業に関する情報や、事業に関する今宿地区でのホットな取り組み等を盛り込んだ新聞スタイルの情報紙を地域に広く配布する。</p>	10月・3月 2回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活支援サポーター養成セミナー	<p>目的：手助けが必要な高齢者に対して、適切に対応できるサポーターを増やし、高齢になっても住み慣れた地域での暮らしや、地域活動への参加を継続できる体制を整備する。</p> <p>内容：手助けが必要な高齢者に対し、より安心・安全に対応する基本的知識・技術を学ぶ。また、高齢者の通いの場（サロンや昼食会）の担い手の養成の他、地域の活動に参加することの大切さも広くお伝えしていく。</p>	2月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プロ直伝！住まいの修繕塾	<p>目的：高齢者の日常生活のちょっとした困りごとを支援する担い手の発掘と養成を目的とし、住まいの修繕に関して身に付けた基本的知識・技術をご自身のためだけでなく、地域の高齢者のために活用いただけるように働きかける。</p> <p>内容：日常生活に欠かせない住まいの修繕の方法を、プロから直接、座学と実習で学ぶ。地域住民主体のちょこっとボランティア活動を毎回チラシを配付しながら紹介し、活動の担い手確保を図る。</p>	奇数月 5回